

井上通商 株式会社
代表取締役

井上 哲也

物流業でスタートしながら、他事業展開するに至った『井上通商』。
スタッフのやりたいことにチャレンジさせ、能力を発揮できる環境を整えるうちに、
いくつもの事業に分かれ、グループとして歩む体制が整ったという。
そうした経緯を井上社長から聞く中で、その器の大きさが印象に残った。
「得意分野で力を発揮してほしい」と話すが、実際に背中を押すことは簡単ではない。
社長の度量がスタッフをステップアップさせ、同社の成長にもつながっているのだ。

**「縁あって当社に来てくれた人に
やりたいことをさせてあげたい」**

物流業を主軸にグループ展開し 仲間たちと協力関係を築き、成長を目指す

井上通商株式会社

東京都大田区久が原 3-40-5 ピュア・ブランチ久が原 1F
URL : <http://inouetsuushou.co.jp>

株式会社 ZERO / WEST AUTO SALES / 有限会社 井乃上
/ Roy's Ex / LEILOW / SKULL GARAGE

『井上通商』の本体は物流会社であるが、スタッフが独立するかたちで、グループとして多様な事業展開をみせている。それぞれの得意分野を活かしたかたちで展開しているため、挑戦心のあるスタッフにとってはありがたい環境だと言えるだろう。そんな同社の井上社長に、布川敏和氏がインタビューを行った。



interviewer
布川 敏和



代表取締役
井上 哲也



——早速ですが、井上社長が独立されるまでの経緯からお聞かせ下さい。

父が事業を行っていたので、私もいずれは経営者になりたいとずっと思っていました。そして学生時代から物流関係のアルバイトを始めて、21歳の時に父が他界したことがきっかけで、独立したんです。父の事業を継いだわけではありませんが、経営者として父の志を継ぐような気持ちはありました。

——お若くして独立されたんですね。最初から順調でしたか。

いえ、若さ故の苦労もありましたし、スタッフが増えてからもしばらくは利益が少なく、大変でした。けれど、ダンボール箱1つから大口運送まで、365日24時間体制で誠実に対応することで徐々に安定してきて、やがて多角的に事業展開するようになっていったんです。というのも、当社に入ってくるスタッフはそれぞれに色々な経歴を持っているため、物流業以外の面で能力を発揮することがあるんです。ですからしばらく働いて、「実は自動車関連の事業がしたいんです」と言われれば背中を押し、グループとして連携していける体制を整えました。そうして今では自動車販売事業部、外食事業部、イベント事業部などに広がっていったんです。

——へえ、物流とは全く別の分野ばかりですね。興味深い展開の仕方です。

やってみたいことがあるなら、それにチャレンジしたほうが力を活かせますからね。また、中には同じ物流関係で独立したいと考えるようになるスタッフもいます。その時には1つの現場を任せて、「試しにやってみたらいい」と経験させた上で、背中を押しあげます。そうして、親会社としてできる限りサポートしています。独立したスタッフたちが抱える人も含め、グループ総数として50～70名くらいの規模になっています。

——すごいですね、やりたいことに挑戦できる土台が整っている。実に懐が深いです。

当社では「知覚動考（ともかくうごこう）」というのを企業理念としています。知って、覚えて、動いて、考えるということですね。特にこの中の「動く」を大切にしているんですよ。行動に移さなければ何も始まりませんから、考えるよりもまず動くことを優先し、その上でよく考えを巡らせる。私自身はもちろんですが、スタッフの皆がこの考え方を大切に色々と挑戦したから、こうして現在の事業形態を築くことができています。中には自分一人で経営しているほうが楽だと考える方もいらっしゃると思いますが、私は

スタッフがいてくれてこそ経営の醍醐味があると感じていますし、皆には本当に感謝していますよ。極端な話、私がいなくても皆がいれば、当社は存続している、と考えています。

——それだけスタッフさんたちを信頼しているのですね。最後に、今後の展望をお聞かせ下さい。

会社をさらに成長させて分社化し、それぞれを任せられるスタッフを増やしてホールディングスのようにしていきたいです。そうして経営者としての視点を持ったスタッフが育てば、皆の成長のためにも当社の成長のためにも、プラスになることでしょう。皆で前向きに、高みを目指していきたいですね。

(2019年3月取材)



「多様な事業を展開し、これからもさらに広がっていかれる予定だという『井上通商』さん。この先ホールディングス化して、全国に名前を知られるようなグループになるかも知れませんね。これからが楽しみです」 布川敏和・談